

加工・調理における放射性セシウムの動態解析 一食べる時の放射性セシウム濃度はどれくらい？__

農産物の加工・調理過程で変化する放射性セシウムの濃度や量を把握することは、実際の食生活における放射性物質摂取についての行政での指標づくりや食品産業における管理、家庭内での安心の目安となります。

■加工・調理での放射性セシウムの変化<加工係数と残存割合>

加工係数とは

加工・調理による放射性セシウム濃度の変化の割合を示します。

$$\text{加工係数 (Pf)} = \frac{\text{加工後の放射能濃度 (Bq/kg)}}{\text{加工前の放射能濃度 (Bq/kg)}}$$

加工係数を求めることで、検査された加工前の放射性セシウム濃度から加工・調理品における濃度が予想できます。

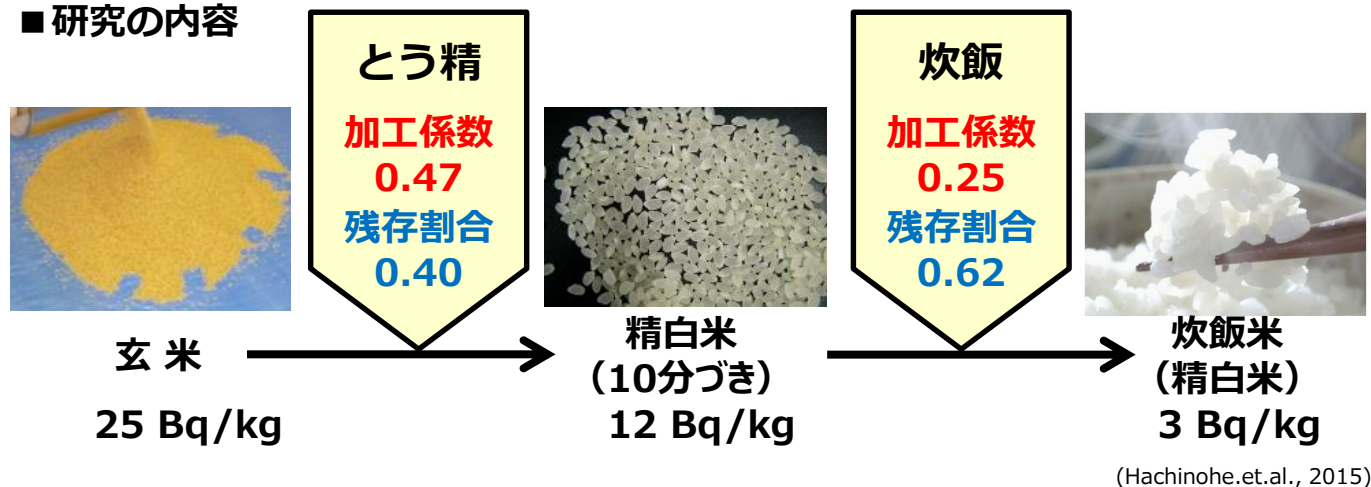
残存割合とは

加工・調理による放射性セシウム量の変化の割合を示します。

$$\text{残存割合 (Fr)} = \frac{\text{加工後の放射能量 (Bq)}}{\text{加工前の放射能量 (Bq)}}$$

残存割合を求めることで、加工前の放射性セシウム濃度とその質量から、加工・調理品に含まれる放射性セシウム量が予想できます。

■研究の内容



25 Bq/kgの玄米をとう精・炊飯すると、放射性セシウムの量は？

